

フットケアを究め、 多くの人の 笑顔に貢献したい。

短大で培った力を糧に、 フットケアの道を拓く。

足のケアを専門とする「フットケアスペシャリスト」の道へ、私が一步を踏み出したのは20年以上前のことです。それまでは、英語を軸に仕事をしていました。愛知淑徳短期大学で英語を徹底的に学んだ後、三菱自動車工業株式会社に就職し、海外生産本部へ。文書の作成や翻訳などに従事しました。結婚を機に児童英語教師に転職し、さらにその後、夫が立ち上げた介護・福祉関連の会社で総務や経理、海外の取引企業との通訳を担いました。そこで、転職が訪れました。オーダーメイドインソールの世界的な企業との交渉で通訳を務めたとき、足に関する医療やフットケアについて勉強し、心身の健康にもつながる奥深い世界に惹き込まれたのです。そして、フットケアの専門学校で

学びを深め、2002年にフットケアサロン「足の専門店ペディ・ケア」を立ち上げました。

フットケアは、海外では医療に位置づけられますが、日本ではまだ発展途上。海外の文献や研修会で最新の知識・技術を吸収し、フットケアスペシャリストとして研鑽を重ねてきました。そんな私の支えになっているのが、短大時代に培った力。1年間、アメリカに留学し、英語力や行動力を鍛えたからこそ、国内にとどまらず世界に視野を広げて学び、挑み続けられるのだと感じています。

多分野と連携し、 フットケア業界を確立。

日本でもフットケアが徐々に広がり始め、この分野について学びたいという声が聞かれるようになり、2005年、フットケアの専門学校を開校しました。同時期に、私自身も専門性を磨きたいと考えて筑波大学大学院で

スポーツ医学を学び、足だけでなく体や心の

悩みをトータルに改善していくホリスティック

フットセラピーを追究。より多くの人の役に

立てるよう医療や介護、美容など多分野と

の連携を見据え、現在は高齢者施設向け

訪問フットケアサービスなどの新たな事業や

取り組みをスタートさせています。私がめざ

しているのは、「フットケア業」の確立です。

フットケアスペシャリストが多様な現場で

活躍し、足のケアから人々の笑顔に貢献す

る、その輪を大きく広げたいと考えています。

愛知淑徳の学生・生徒の皆さんも、それ

ぞれ夢や目標があると思います。大切に

ほしいことは、「有言即実行」「笑顔で自分

正直に」「感謝の気持ち」の3つ。積極的に

行動を起こし、自分と向き合いながらまわりの

人に感謝する心も忘れず、めざす道をあき

らめずに進んでほしいと願っています。



在学中のアメリカ留学では、現地の高校、サマーキャンプ、大学、ホームステイで素敵な出会いに恵まれ、人間的にも大きく成長。



校長を務める「足の専門校SCHOOL OF PEDI」では実技指導も担当。医療・介護・予防・美容のフットケアを丁寧に教えています。

フットケアスペシャリスト
(足のケア専門家)

桜井 祐子さん(旧姓:平井)

愛知淑徳短期大学英文学科を1996年3月に卒業。結婚後、夫の起業を機に株式会社グローバル・ケアの取締役となってフットケア事業を立ち上げ、日本トータルフットマネジメント協会理事長、足育研究会理事などに就任。仕事と両立して筑波大学大学院人間総合科学研究科スポーツ医学専攻博士課程を修了し、博士(スポーツ医学)を取得。